海外レポート	**アメリカ　ニューヨーク**

「クリスマス、年末年始の米国民の大移動」

蟬本　睦

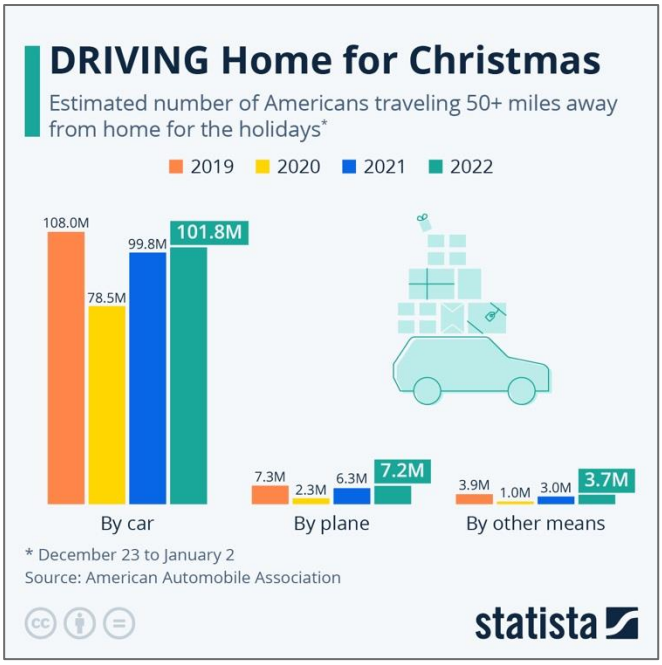
＜クリスマスの帰省１億 1,270 万人を予想＞

さて、日本の年末年始のように、米国においては、11 月末の感謝祭、そしてクリスマス休暇の時期は多くの国民が故郷や親元に帰省します。民間統計情報サイトの Statista（スタティスタ）によれば、2022 年のクリスマス休暇に合わせて帰省する米国人は、1 億 1,270 万人に上ると予想、ほぼ日本の総人口に相当する国民が帰省すると見込んでいます。

これは、2020 年と比べると 3,000 万人以上、昨年と比べても 290 万人増と大幅に増加することが見込まれています。2019 年比で 94%ですから、ほぼコロナ前の状況に戻りつつあると言えるでしょう。

＜9 割が車で帰省する車社会＞

同 Statista の記事によれば、以下の図のとおり、1 億 1,270 万人のうち、1 億 180 万人、つまり 9 割以上の国民が車で帰省すると見込んでおり、飛行機の 720 万人(6.4%)、電車・バスなどそれ以外が 370 万人（3.3%）と比べても圧倒的で、比較的運転して帰省できる距離からの帰省であることが想像でき、また現下のガソリン価格が値上がりした状況でも依然自動車の利用が圧倒的であることが伺えます。



また、パンデミック前の 2019 年、2021 年も同様に車の割合は 90%でしたが、2020 年のみ 95%と増えています。このころはまだワクチンも存在せず、各エアラインも減便していたため、多くの国民が自家用車での帰省を選択したということが過去の統計数字から伺えます。

＜大寒波がクリスマスの米国を直撃＞

一方でウィンターストーム、エリオットと呼ばれる、大寒波がクリスマスの米国を直撃する予報が出ています。本記事の執筆は 12 月 23 日ですが、シカゴ在住の知人からは、体感温度の予報がマイナス 36 度で、最高気温がマイナス 18 度だとの連絡が入りました。すでに五大湖周辺では吹雪が発生している模様で、これから週末にかけて、南東部から北東部にかけての広い範囲で、数十年来の寒波が予想され、報道によれば 4,500 便のフライトがキャンセルされる見込みとのことです。また、電車や自動車での移動も大混乱することが予想されます。

【Weather.com より】

日本も寒波到来で大変と伺っていますが、広島のみなさまにおかれましても、良いお年をお迎えください。新年もニューヨークより最新の状況をお伝えしたいと思います。